



自治会だより

2016
新春号

～挨拶と花と緑の明るいニュータウン～
安全で安心して暮らせる街づくりを実現しよう！
守ろう！住環境維持のルールとペットマナー



写真提供 総合地所（株）

身近になった宇宙への挑戦

自治会長 浅井嘉一

新年、おめでとうございませぬ。

探査衛星「あかつき」が金星への周回軌道投入成功の時のこと、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の発表があり、そのテレビを見ていた方が研究員のひとりに見覚えのあることに気がつき驚きました。地元中学卒業、ニュータウンにお住いだった方だったので、日本の探査機が地球以外の惑星軌道に入ったのも初めて、無人飛行「あかつき」自体の姿勢制御と金星周回投入時の傾斜角など、彼女が投入のタイミングや飛行場所を割り出す膨大な数値計算の担当者だったのです。遙か遠い宇宙の「あかつき」をコントロールすること自体も想像でき

ません。

ひとりの女性研究者が困難を乗り越えて宇宙の謎の解明に貢献している姿を想像、しかも身近な方だっただけに驚きと感動は私だけではなかつたようです。

宇宙への夢は、児童・生徒や学生、研究者や企業間でも期待され注目しています。やはり昨年暮れ、長期滞在から帰還した油井飛行士がカザフスタンに着地したとき、9、144人もの人たちがJAXAの実況放送を同時受信、PCにアクセスして見ていたよう、その関心の高さ、注目度にも驚かされました。人間の宇宙飛行から凡そ50年、若田さんが大宮のご出身ということも親しみを感じ

ます。毛利飛行士以来ISS（国際宇宙ステーション）日本の研究モジュール「きぼう」の飛行士と各地を通信衛星で結び、子供たちと直接交信する試みに、私もその幾つかで少々お手伝いの機会に恵まれ、とても懐かしく宇宙が益々近くなってきたことを実感しています。

わが街の若者たちが宇宙へ飛び立つ日、そう遠くないかも知れません。

青空市報告

事業部副部長 築瀬 智采

師走とは言え暖かい日が続く十二月六日（日）、十月から準備を始めた青空市が開催されました。会場のさくら公園には九時開始前からたくさんの方にお越しいただきました。

二日前から仕込んだ甘酒の無料提供、前日から準備・リハーサルを行った餅つき実演販売、クリスマスリース作り、花や苗の販売、フリーマーケットなど、盛りだくさんのコーナーで賑わいました。毎年人気の「うえはら林檎園」蜜入りりんご販売は、林檎園様のご尽力で、昨年より数を増やすことができました。当日は「活気あふれる青空市を是非見てみたい」と、林檎園のご息様が会場へ足を運んでくださいました。大勢の行列を見てビックリされた様子で、長野のご実家にも伝えてくださったようです。

大盛況のうち無事終了することができたのも、前日・当日と、朝早くからお手伝いいただいた各部班長の皆様、フリーマーケット関係各位並びにみなさんのお力添えがあったのと感謝申し上げます。次第です。

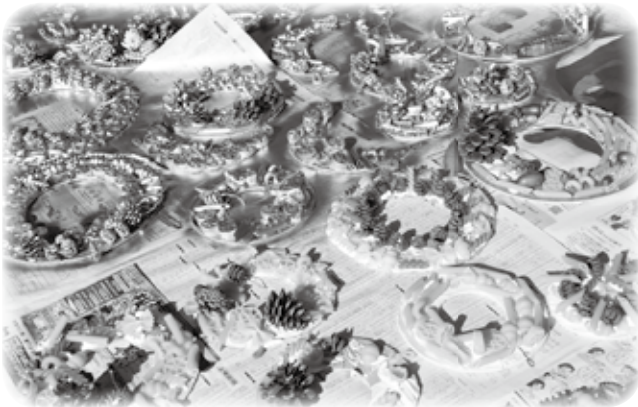


りんご販売に行列

私自身、美しい街並みに惹かれニュータウンの一員となつて三年、多くのイベントに参加させていただき皆様の温かさに触れ、改めてこの街の良さを感じることができました。自治会二十八年の伝統を守りつつ、今後もニュータウンを盛り上げ継続していききたいと思っております。



こどもたちがお餅をついてくれました



素敵な作品ができました



リース作りに真剣です



色とりどりのお花も人気



フリーマーケット

白岡ニュータウンとともに 埼玉県立白岡高等学校創立四十周年

小林伸子 校長

昭和五十二年に地元白岡町（当時）の皆様の、「白岡にも高校を」という熱い願いのもと開設していただいた白岡高校は、今年創立四十周年を迎えます。新白岡駅が開業したのが昭和六十二年、その十年前に開校したことになります。

本校の歴史は白岡ニュータウンの歴史と重なっており、皆様方に見守っていただいたおかげで現在の白岡高校があると言っても過言ではありません。今も様々な場面でお世話になっております。本校の文化祭である「ありの実祭」でのコーラス発表・作品展示、レッククリーン白岡へのご協力、庭園の植樹のご指導、毎日の生徒の登下校の様子も見守っ

ていただいています。自治会会長様には本校の学校評議員をお願いしてございます。

特に、昨年の野球部の甲子園大会県予選には、激励をいただいたり、たくさんの方に球場まで応援に来ていただき、本当にありがとうございます。た。おかげさまで準優勝することができました。さらに夏祭り盆踊り大会には野球部をご招待いただき、お祝いまでいただいております。紙面をお借りしてあらためて感謝申し上げます。

本校の目指す学校像は「自主と奉仕の精神に満ち、社会に貢献する人間を育てる、地域に信頼される学校」です。白岡高校が地域に愛される学校



県立白岡高等学校



小林校長

として、この後も創立五十周年、百周年を迎えられるよう、教職員・生徒・保護者が一丸となり頑張つてまいります。どうか今後とも、白岡高校の教育活動に、ご理解・ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

防災訓練開催

自主防災会事務局長
目次 英哉

十月三十一日（土）、自治会と自主防災会共催の防災訓練が開催され、約300人の参加でした。

朝九時、防災無線のアナウンス、参加者は防災リボンの掲出確認の後、会場の白岡東小学校に集合しました。今年のは会場設営を早め、九時四十分には開会式を開始し、やがて災害時要援護者の避難支援訓練の車椅子3台も到着しました。

訓練は、例年の救護訓練を3つに分け、新たに「防災クイズ」を加えたメニューを、街区単位で自由な順序で回る「スタンプラリー方式」を試みました。特定の訓練へ参加者の集中が懸念されましたが、幸い大きな混乱はなく済みしました。消防士のコスプレで記念撮影、

悠友会二十周年文化祭

防災グッズ斡旋など訓練以外の企画も好評でした。

十一時には全訓練が終了、例年より15分早く閉会式を開始。訓練講評、ポスター応募児童に記念品贈呈の後、炊出しのカレーライスが参加者に配られ、順調でした。

訓練には、全街区の8割以上、全世帯の一割強から参加がありました。例年に比べ三丁目の大人の参加者が20人以上減り、子供が10人も増えたのは、高齢化で住民の参加が減る一方、遊びに来たお孫さんたちの参加があったのかも知れません。又、各戸ドアノブへの防災リボン掲出は、全戸の3割弱でした。

皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

なお、二月二日（火）当自主防災会が日頃の顕著な活動に対し、埼玉県知事表彰を受けることになり、詳細については次号にてご報告します。



水消火器体験



煙ハウス体験

悠友会二十周年文化祭

広報部長 甘利和代

十月三日、四日の二日間、ノースプラザにて、悠友会創立二十周年記念の文化祭が開催されました。式典、各クラブの発表、コンサート、アトラクションと盛りだくさんの内容でした。集会所の壁面いっぱい、クラブの活動状況が工夫を凝らして展示されました。

創設二十年、地域社会に貢献され、趣味を同じくする仲間との親睦を深め、いきいきと活動されている諸先輩の姿勢を拝見し、ただただ脱帽。わが街ニュータウンの底力を感じました。

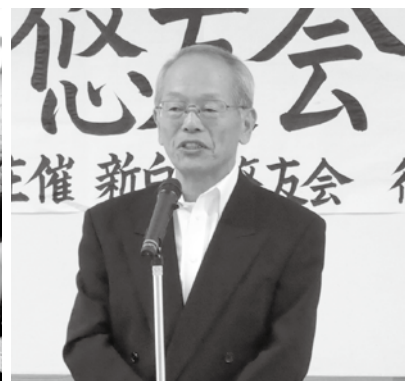
この度、「優良クラブ」として、県内ではただひとつ全国表彰されました。今後、より一層のご健康と会のご発展を心より祈ります。



全国老人クラブ連合会から表彰



皆で歌おう！



高薄会長挨拶

心肺蘇生法とAED講習会・認知症サポーター養成講座に参加して

心肺蘇生法とAED講習会 〜いざというときに備えて〜

保安部長 飯塚 牧三

家族や隣近所の人が大けがをしたり意識を失った時や災害時は、通信や交通路の遮断で、救急車などすぐには期待できません。そこで、求められるのが応急手当です。このような状況を想定した「心肺蘇生法とAED」の講習会を埼玉東部消防組合の隊員の指導により九月十二日（土）実施しました。28名の方が受講、「普通救命講習修了書」を手に入れました。最初は不安そうなのも見受けられましたが、隊員の指導を受けているうちに「自信」に変わっていくのを感じました。このことは、救われる命を救うといった積極的な姿勢の現われと確信しました。

習得した救命技能を忘れることなく、さらに維持向上を



図っていくためにも3年間隔での再講習を受けていただくことをお勧めします。心肺停止になった人の命を救うのは何と言っても第一発見者であるあなたです。助け合い励ましあえる環境づくり、安心して暮らせる自治会組織を推進していくためにも、この講習は継続していきます。参加をお待ちしています。

認知症サポーター養成講座に参加して

総務部副部長 徳永 浩

十月十日（土）、白岡市地域包括支援センター光乃里の野口様、林様を迎え、20名の参加をいただきました。また、認知症疾患医療センター「久喜すずのき病院」相談員2名と実習生2名の方々も研修に参加いただきました。

講座は厚労省の認知症サポーター百万人キャラバン運動の一環で、既に埼玉県は12万人、白岡市には千人のサポーターがいます。

認知症は、様々な原因で脳細胞が死滅又は機能悪化により障害が出て生活に支障が出ている状態（約6カ月以上継続）です。現在85歳以上では4人に1人が発症、今後20年で倍増すると予想されています。

サポーターの役割は認知症



を正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守ること、それぞれの暮らしの場でのサポートを心がけることです。一番大事な事はその方の自尊心を気づけないことです。受講された方から熱心な質問の講演になりました。

植樹会報告

環境部副部長 小暮文枝

緑豊かな美しい街並の維持、向上のため、今年度も市から「オオムラサキ」の苗木220本を受け、植樹会が中央通りで実施されました。九月十九日暑さの中、補植に向けての事前の穴掘り、それに続き十月三日植樹の本番となりました。

植樹は経年を物語るけやきの太い根が、横に張り、穴掘りは困難でしたが、役員、班長、ボランティアの皆様のご協力により、手際よく終了することができました。厚く御礼申し上げます。

私は初めて参加させて頂き、先輩の皆様のためまぬ努力を、実感した一日でありました。心ときめく春の芽吹き、そして開花を心待ちにしています。



秋のごみゼロ運動

環境部副部長 野呂典子

小春日和、清々しい気分できり運動を終了することができました。延期になったにも関わらず、約1,200人の方々のご参加に、厚く御礼を申し上げます。

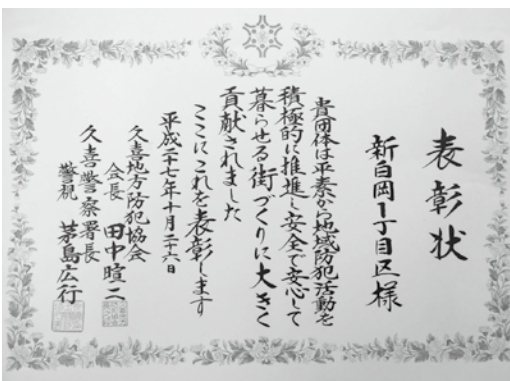
皆様の日頃のご協力で得られる環境づくりが、これからも継続されていく事を願っています。



歳末警戒パトロール

保安部長 飯塚牧三

拍子木を合図に「戸締りしっかり火の用心」と掛け声をかけながら、巡回する歳末パトロールを、十二月二十七日、二十八日に実施、累計大人130名、子ども18名の参加を得ました。年の瀬の慌ただしい時にもかかわらず、多数の参加をいただき、ありがとうございました。



2・3丁目区もあります



こどもたちも参加

こういった、住民参加の活動が認められ、久喜地方防犯協会、久喜警察署長から表彰されました。今後とも、安心・安全な街づくりに皆様のご理解、ご協力をお願いします。

圏央道ウォークフェスタに参加しました

圏央道ウォークフェスタに参加しました

一丁目 吉井 健

十月三十一日の圏央道（白岡菖蒲IC桶川北本IC間）の開通に先だって、高速道を歩くウォークフェスタが開催された。

運良く当選通知を受け、新白岡西口駅前からシャトルバスを利用、夫婦で参加した。さわやかな秋晴れで日中は暑くなりそうな予感。御夫婦、家族連れ、友達同士、乳母車の赤ちゃん連れなどさまざまである。

歩くのは菖蒲PAから桶川加納ICまで片道2.8km往復だが、どこから引き返してもいいことになっていた。

私たちは往復に挑戦、スタート前に早速菖蒲PAの施設を見学、思ったより大きく、トイレやフードコートも充実し

ていた。当日はテントの出店で大賑わい、歩行中は飲食禁止とアナウンスしていたので朝食をとる人が多く、サンドイッチやうなぎおにぎり、梨やソーセージが人気のようだった。

十時の花火を合図に久喜東中の吹奏楽に送られ、菖蒲PAをスタート、車道一杯にひろがり前に進めないほど混んでいる。アプローチを登って本線に出るとやっと歩きやすくなった。途中2か所に簡易トイレが用意されているのも、嬉しいサービスだ。

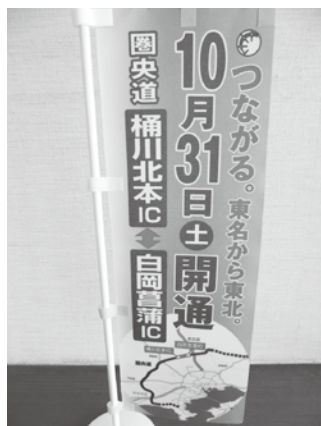
高速道が地上から高いので景色の良いところではさかんにシャッターを切っている。特に新幹線の上では電車の通過待ちのカメラマンでごったがえしていた。

中間点を過ぎると逆に桶川加納ICからくる人と交差することになるが、その中に背広姿の白岡市長や市役所の方々

とすれ違ったのにはビックリした。妻は同じニュータウンの人をみつけてあいさつしている。表示版も真新しく新鮮で、約四十分で桶川加納ICにいった。

この先の桶川北本ICでは「バーなしETC」の実験が行われているとのことだ。桶川加納ICでは地元の人たちのエアロダンスやお囃子倶楽部の演奏などが行われていた。

私たちはのどの乾きを癒してから菖蒲PAに引き返した。これからここを利用するたびに思い出す楽しいイベントだった。



編集後記

年末年始は例年になく暖かい日が続きましたが、中旬になり突然の雪がありました。毎年ニュータウンの各種行事で季節の移り変わりを感じます。

ごみゼロや青空市ではなくさんの方々にご参加いただき、隣近所の関係が希薄になつているといわれる昨今とは違う、この街の良さをあらためて感じる事ができました。ありがとうございます。今後も自治会活動へのご協力をよろしく願います。

(中)